

あきる野市 議会だより

平成22.11.1

NO. **61**

発行／あきる野市議会 編集／議会報編集特別委員会 TEL 558-1111 〒197-0814 あきる野市二宮350



マールボロウ市庁舎前にて

第3回(9月)定例会

平成21年度決算認定 歳出総額480億円 P4

● 審議結果

提出された議案を慎重に審議…………… P 2

● 一般質問

聞いてみたいな、こんなこと(質問者18名)…………… P 6

● マールボロウ市350周年記念事業

議長が参加…………… P16

● 今昔写真館

坂の上の武蔵五日市駅…………… P18

平成22年9月

定例会の概要

9 月定例会は、8月30日に開会し、9月22日まで24日間の会期で行われました。

定 例会初日の30日から1日までの3日間、18名の議員による一般質問が行われました。

2 日には、市長から提出のあった議案や市民から提案のあった陳情を審議し、補正予算等の議決、議案や陳情の委員会付託を行いました。

10 日・13日の2日間は、常任委員会が開催されました。10日には総務委員会、環境建設委員会、13日には福祉文教委員会が開催され、総務委員会では、6月定例会から継続となっていた陳情の審査を行い、環境建設委員会及び福祉文教委員会では、付託された議案等の審査を行いました。

15 日・16日には、決算特別委員会が開催され、平成21年度9会計について

の歳入歳出決算が審査されました。
最 終日の22日には、環境建設・福祉文教の各常任委員長と決算特別委員長の委員会審査報告などを受けて、質疑・討論の後、採決が行われました。

9月定例会で決まったこと

市長提出議案（22件）

「投票の結果、全員の賛成で同意」

○あきる野市固定資産評価審査委員会委員の選任について

あきる野市固定資産評価審査委員会委員坂本範夫氏は、平成22年11月9日をもって任期満了となり、引き続き同委員に選任するため議会の同意を求めます。任期は、平成22年11月10日から平成25年11月9日までとなります。

○あきる野市教育委員会委員の任命について

あきる野市教育委員会委員溝口勲夫氏は、平成22年10月27日をもって任期満了となり、引き続き同委員に任命するため議会の同意を求めます。任期は、平成22年10月28日から平成26年10月27日までとなります。

「全会一致で原案を可決」

○あきる野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

入湯税の課税免除及び税率を改めるため、規定を整備するものです。

○あきる野市基金条例の一部を改正する条例

あきる野市の観光振興に関する経費の財源を確保するため、規定を整備するものです。

○市道路線の認定について

道路法（昭和27年法律第180号）第8条第1項の規定により、あきる野市瀬戸岡408番地1先から同364番地先までを市道路線に認定するものです。

○市道路線の廃止について

道路法（昭和27年法律第180号）第10条第1項の規定により、あきる野市瀬戸岡359番地先から同360番地先までを廃止するものです。

○市道路線の変更について

道路法（昭和27年法律第180号）第10条第2項の規定により、あきる野市雨間304番地1先から瀬戸岡408番地1先までを同347番地1先までに変更するものです。

○市道路線の変更について

道路法（昭和27年法律第180号）第10条第2項の規定により、あきる野市伊奈865番地先から同821番地2先までを同865番地1先から同835番地1先までに変更するものです。

平成21年度決算

「賛成多数で原案を認定」

○平成21年度あきる野市一般会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度あきる野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度あきる野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度あきる野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

【全会一致で原案を認定】
○平成21年度あきる野市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度あきる野市戸倉財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度あきる野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度あきる野市テレビ共同受信事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度あきる野市受託水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
*歳入歳出決算額等の詳細は、5頁をご覧ください。

平成22年度補正予算

【全会一致で原案を可決】

○平成22年度あきる野市一般会計補正予算(第2号)

○平成22年度あきる野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

○平成22年度あきる野市老人保健特別会計補正予算(第1号)

○平成22年度あきる野市介護保険特別会計補正予算(第1号)

○平成22年度あきる野市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

*補正予算額については下表をご覧ください。

議員提出議案(1件)

【全会一致で原案を可決】
○食料自給率の向上を求める意見書

陳情(2件)

【審議未了】
○人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情

【賛成少数で陳情を不採択】
○保育所の給食外部搬入は実施せず、自園調理方式の維持を求める陳情

その他報告事項(2件)

○平成21年度決算に基づく健全化判断比率について

○平成21年度決算に基づく資金不足比率について

平成22年度 会計別補正予算額

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計(第2号)	286億284万4千円	6億2036万3千円	292億2320万7千円
特別会計	国民健康保険	3億9307万7千円	85億6545万1千円
	老人保健	620万5千円	1065万9千円
	介護保険	3589万9千円	41億3778万9千円
	下水道事業	△1352万2千円	30億2360万8千円



平成21年度決算認定

歳出総額480億円

平成21年度の9会計の歳入歳出決算は、議長・監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置し、9月15日・16日の2日間にわたり、審査を行いました。

決算特別委員会では、活発な質疑や議論を行い、慎重な審査の結果、一般会計決算及び8件の特別会計決算をすべて認定しました。

22日の本会議において、決算特別委員長の審査報告の後、各会派による討論が行われ、平成21年度歳入歳出決算の採決で、9会計全て原案どおり認定されました。

一般会計決算に対する討論

反対

日本共産党あきる野市議団

景気低迷の影響で、給与収入が一人平均6万円減収となり、市民の暮らしは大変厳しい。市税全体では前年度比4億4950万9千円減となった。

歳出では、学校の耐震化が国と東京都の助成でようやく平成23年度までに実施完了のめどがついた。保育園・学童クラブの待機児解消の問題では、草花保育園の建替や秋留台学童クラブ・増戸第2学童クラブの新設で一定の改善がされたが、なお保育園47名、学童クラブ92名の待機児がいる。市民サービスカットの問題では、町内会など各種団体や小中学校の修学旅行の補助金が10%カットされ、いきいきセンターの温水プールも冬季休業された。「るのバス」はいまだに1台のみである。

一方で、臼井秋川市長時代に企業誘致目的で購入し、開発に失敗した山林を「郷土の恵みの森構想」と称し、用地買収費を含め17億9100万円が使われた。厳しい財政状況の中だからこそ市民の暮らし・福祉・医療・教育を最優先に税金を使うよう求め、反対討論とする。



決算特別委員会での採決

賛成

志清会

平成21年度決算における経常収支比率は98・7%で、前年度に比べ2.6ポイント改善された。これは「あきる野市行財政改革元年実施プラン」で掲げた「23年度に99%」という短期目標を、2年前倒しで達成できたものであり、市長以下全職員が一丸となって改革に取り組んだ成果と評価する。

またその結果、前年度からの繰越金等を原資とし、財政調整基金を大幅に積み立てられたことは「行財政改革の着実な推進は必ず成果につながる」ということを証明した。

経営方針に掲げられた重点施策の面では、「小中学校の校舎・体育館の耐震化」が、23年度までの完了へ向け着実に前進。「土地開発公社の健全化」についても、21年度に約18億円の簿価縮減を図ることができた。一方、国の経済対策にも迅速に対応し、緊急雇用や市内の中小企業に配慮した発注を行い、地域経済の活性化に努めたことは、非常に効果的であったと評価する。

多くの市民は「協働の精神」の下、市の取り組みに積極的に協力している。市に引き続き行財政改革の断行と、より一層の市民サービスの提供を求め、賛成討論とする。



平成21年度 歳入歳出決算額

会計別	予算現額	歳入総額	歳出総額	差引残額 (翌年度繰越)	
一般会計	295億9275万6000円	294億2576万8416円	286億8061万2163円	7億4515万6253円	
特別会計	国民健康保険	84億7961万5000円	88億2237万5746円	82億6536万2565円	5億5701万3181円
	老人保健	4239万3000円	4008万7532円	3388万7362円	620万170円
	後期高齢者医療	11億5148万6000円	11億4230万7046円	10億8487万7096円	5742万9950円
	介護保険	40億5906万0000円	40億5496万6423円	40億1497万2667円	3999万3756円
	戸倉財産区	1325万6000円	1427万2157円	998万1631円	429万526円
	下水道事業	44億5647万0000円	44億5088万184円	43億9408万7294円	5679万2890円
	テレビ共同受信事業特別会計	7億6995万4000円	7億6825万7143円	7億6825万7143円	0円
受託水道事業	9億2327万4000円	8億4332万264円	8億4332万264円	0円	
合計	494億8826万4000円	495億6223万4911円	480億9535万8185円	14億6687万6726円	

賛成

公明党

平成21年度は、100%を超えていた経常収支比率が98・7%となり、財政構造の弾力化が図られたことは、行財政改革の取り組みの成果と評価できる。

歳入は、その根幹となる市税が大きく減少している。経済状況は依然として厳しい状況にあり、就業支援、中小零細企業支援等、国、都の支援を最大限に活用できるように更なる対応が必要と考える。

歳出は、生活保護費や障がい福祉サービス費など扶助費の増、また定額給付金や子育て応援特別手当の給付による補助費の増が大きいものと理解する。

主な事業としては、妊婦健診14回の公費負担、中学3年生までの医療費無料化、秋留台学童クラブの設置、保育園の待機児童対策など子育て支援の充実が図られたことは高く評価する。

全般的に、厳しい財政状況の中、市民の様々な要望に向き合いながら、行財政改革の取り組みは一定の成果があったと認められる。

今後も、引き続き行財政改革を進めつつ、市民サービスの充実に取り組みまれることを要望し賛成討論とする。



賛成

政和会

「平成21年度あきる野市一般会計歳入歳出決算」について認定の立場から討論する。第1に職員の努力により、不用額として予算現額の2.1%に当たる6億778万837円の経費等が節約されたこと。第2に「経常収支比率」「将来負担比率」が極めて厳しい財政状況下で改善されたこと。第3に「財政調整基金」も22年9月には、5億282万1千円追加され、市民生活のセーフティネットの充実に近づいていると認識できたこと。第4に議会で可決された予算をほぼ忠実に執行したこと。

以上が認定と判断した主な内容だが、以下の課題と提言について、尚一層の努力を求める。依存財源と起債に頼る財政運営を抜本的に見直し、自主財源確保に努めること。市の財政状況について、わかりやすく正確な情報を市民に提供し、市民の理解と協力を得られるよう努めること。以上の意見を付して賛成討論とする。

賛成

民主党

市税収入が落ち、伸びが期待できない現状で、社会保障関係経費が増大、公債費は上限を迎え、厳しい財政運営が続いている。財政力を判断する各種指標数値が多摩26市中、下限の位置にある。この状況下にもかかわらず、決算収支中、実質収支比率は4.1%で、前年度比0.4ポイント上回った。向こう3年間で見通した経常収支比率、将来負担比率等も減少し、小・中学校耐震化の促進等、要所にメリハリのある予算執行が伺えることに、一定の評価をする。さらに、最少の経費で最大の効果を上げられる行財政運営に取り組みすることを要望し、賛成討論とする。

市税収入が落ち、伸びが期待できない現状で、社会保障関係経費が増大、公債費は上限を迎え、厳しい財政運営が続いている。財政力を判断する各種指標数値が多摩26市中、下限の位置にある。この状況下にもかかわらず、決算収支中、実質収支比率は4.1%で、前年度比0.4ポイント上回った。向こう3年間で見通した経常収支比率、将来負担比率等も減少し、小・中学校耐震化の促進等、要所にメリハリのある予算執行が伺えることに、一定の評価をする。さらに、最少の経費で最大の効果を上げられる行財政運営に取り組みすることを要望し、賛成討論とする。